

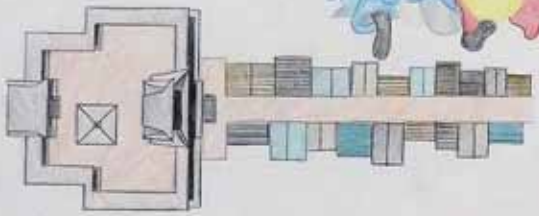
空き屋通りを参道へ

参道は、「参拝に参拝する人のための道」と定義されている。しかし、社会環境に続くということだけでなく、その地帯に合った景観や環境などの役割がある大切な空間である場合が多い。少子高齢化とともに、田舎の道は人口が減ってきている。静寂の道が、周辺の特長性もあり、景観も美しい。田舎から都会に移り住む人が増え、物には空き家が豊富にあってしまった。その空き家が参道通りを再活性化させたい。空き家が参道通りを再活性化させるためには何が必要か。空き家にまた人が住むことだ。そのためには、その町に人が住まる理由がなければならぬ。

そこで私たちは五重塔を建て、通りを参道にしようと考えた。参道にすることで、五重塔への参拝者が来る。五重塔へと続く参道には、おみやげ屋、休憩所、食事処などの店が並ぶ。その店に空き家を利用することで、低コストで参り住むことができ、利用しやすくなるだろう。

田舎には都会にはない豊かな風景がある。日本の伝統的な五重塔を建てるにはふさわしい場所ではないだろうか。空き家のまんだ通りに五重塔を建てることで地帯地化、参道も整備することでお参り客やそこで経過する人が増え、町の賑わいを取り戻し、再生できるのではないだろうか。

参道は日常生活と信仰の場所とを兼ね、その地域の信仰や歴史、社会の絆を築く大切な空間がある。空き家のまんだ通りに参道にすることによって、人々が集まり、信仰、歴史、絆を生み出し、街を再活性化させたい。

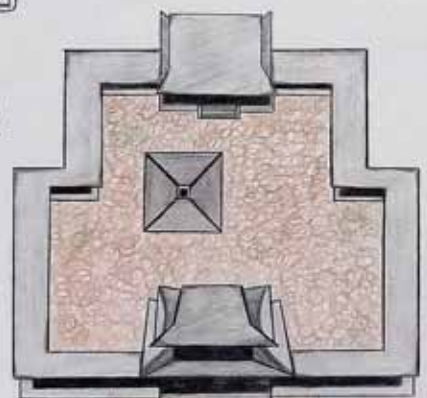


提案図



旧建物 前配置図

配置図



今ある空き家の壁面は剥がれていないため、免屋という技術をつかい、壁面を補完。参道を美しくします。

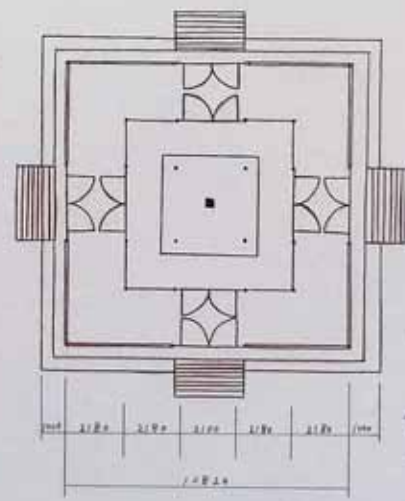
免屋とは、建築物とそのまわりの状態で移動する建築工法である。

免屋は必要最低限の取り壊しにより、取り壊し料金・廃棄物処分料金を抑えることができ、新築を建てるよりも費用が抑えられる。

短い期間で施工できるというメリットがある。



平面図



立面図



断面図

